

## 県立千葉工業高等学校

### 目 標

- ・ 生徒の海外留学や海外勤務等、将来海外で活躍できる人材の育成に資する。
- ・ グローバル社会における国際理解を進め、主体的に海外や外国人と関わろうとする態度を育む。
- ・ 生徒海外研修の事前学習に資する。
- ・ 台湾の文化等の理解、中国語であいさつ等ができるようにする。
- ・ 交流を通して日本の文化を伝える。

### 留学生等との交流会の開催

- (1) 日 時：平成30年10月23日（火）13時30分から16時30分
- (2) 会 場：本校電子機械科コンピューター室
- (3) 留学生等：メロス言語学院の留学生6名、教員1名
- (4) 参加者：第1学年生徒4名、第2学年生徒4名、第3学年生徒3名、教員3名、  
計 14名

(5) 内 容：

- ・ 台湾からの留学生による台湾の紹介及びグループ協議
- ・ 留学生による台湾の文化・経済・歴史の紹介及び日本との関係等についての紹介。
- ・ プロフィール表を留学生の指導で中国語に訳す。
- ・ 留学生の指導で、自己紹介の練習をする。

(6) 事前学習：

- ・ 事前アンケート（台湾についてのイメージ調査）
- ・ プロフィール表作成  
（自己紹介、交流時に中国語で話したい事をまとめる。）

(7) 事後指導：

- ・ 研修成果のまとめ（挨拶等の言葉や文化について）
- ・ アンケート調査

(8) 参加者の感想等：

- ・ 日本とのマナーやルールの違いを知ることが出来た。
- ・ ネイティブの前で下手な発音で話すことが恥ずかしくて躊躇いがあったが、外国の方が日本語を話してくれる事が嬉しいし、上手だと思うのは、緊張しても明るく堂々と話した方が相手に伝わるからだ、ということがわかった。
- ・ 昨年よりもスムーズに研修が進んだので、多くのことを学べた。
- ・ 昨年とはまた違った知識もあり、世界の広がりを感じている。
- ・ 自己紹介の挨拶を練習させてもらったのが良かった。
- ・ 会話練習の時間がもう少し欲しかった。



## 事業の成果

- ・ 台湾について（文化・習慣・交通事情等）知る事が出来た。
- ・ 中国語を学べた。（挨拶・一般用語・専門用語）発音の練習が出来た。
- ・ 現地で行う交流の準備を整えることが出来た。
- ・ 日本の文化について知る事が出来た。

## 今後考えられる新たな取組

- ・ 本校で実施している台湾への生徒海外研修では、ここ数年の傾向として複数回参加を希望する生徒が増えてきている。そのため、初参加の生徒とリピーターが一緒に行っても満足出来るような事前研修の内容を検討する必要がある。